

科名 婦人科

対象疾患名 相同組み換え修復欠損を有する卵巣癌

プロトコール名 BEV+リムパーザ

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	・・・	21
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ	↓						
2	点滴注	側管	アバステン 生食	15mg/kg 100mL	医師の指示通り	↓						
3	内服		リムパーザ	1回300mgを1日2回経口投与		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

★1クール=21日

～MEMO～

相同組み換え修復欠損(HRD)が陽性、白金系タキサン系抗悪性腫瘍剤及びベバシズマブを含む初回化学療法で奏功が維持されている患者を対象とすること。

催吐レベル1(10%未満)

<アバステン>

化学療法併用時を合わせて最長15カ月/計22サイクル

3リンゲン以上の化学療法歴、消化管等腹腔内炎症の合併症例使用不可

創傷治癒遅延の作用により術後28日以内の投与不可

投与速度:初回90分,忍容性良好であれば60分,30分まで短縮可

投与期間中は投与回数が増えるほど高血圧の出現頻度が高くなるため定期的に血圧を測定すること。

<リムパーザ>

2年間継続。治療開始2年時点で病変が認められる患者についてはベネフィットが期待できると判断した場合継続可能。

連日投与。

300mgを投与する時は150mg錠2錠使用し、100mg錠は減量時のみ使用。

中程度または強いCYP3A阻害剤を使用する時は減量を考慮。